

# タイの大学における社会人基礎力育成に向けた 教材開発の可能性を探る

— BTS メンバーの発言に焦点をあてて —

## Exploring the possibility of developing teaching materials to nurture fundamental skills for business at Thai universities

— Focusing on the statements of BTS members —

鹿目葉子・清水慶子・大橋真由美  
KANOME Yoko, SHIMIZU Keiko, OHASHI Mayumi

### 〔要旨〕

タイでは急速な少子高齢化により、200～300の大学において定員割れが続いている（KAMO CONSULTANCY 2023）。筆者らが現地の大学にて調査をしたところ、日本語専攻の定員数が大幅に下回る大学も年々増加している現状にあることがわかった。その現状を踏まえ、日本語教育に付加価値をつけるため、現地の大学では日系企業への就職を意識した「社会人基礎力（経済産業省 2006）」の育成へシフトしようとしている。しかしながら、現地の大学における日本語教育は、「社会人基礎力」の育成を意識したコースデザインとは言い難く、特にどのような教材を使用するかについては課題が多く残されている。そこで、筆者らはタイの日本語学習者の学習動機であるポップカルチャーと授業内ツールとしてのデジタルコンテンツに着目した。本稿の目的は、BTSのトーク番組「シュチタ」におけるメンバーの発言に焦点をあて、「シュチタ」の社会人基礎力教材への汎用の可能性を探ることである。

**Key word:** 社会人基礎力、日本語教育、SNS、ポップカルチャー、デジタル教材



## 1. はじめに

タイはアジア主要新興国のなかで最も速いペースで少子高齢化が進展しており、65歳以上の人口比率は現状の約1割から2030年代に2割を上回ると見込まれている（熊谷 2019）。これに関連して現地の大学教員の話によると、定員数を大幅に下回る大学が年々増加している現状にあるという。そして、それらの大学では、日本語教育への付加価値を見出すために、日系企業への就職を意識し、言語に特化した教育から人材育成としての「社会人基礎力（経済産業省 2006）」の育成へシフトしようとしているという。「社会人基礎力」は、2006年に経済産業省が、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」と定義し、3つの能力（「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」）と12の能力要素で構成されている。

しかしながら、現地で行われている日本語教育のコースデザインが「社会人基礎力」の育成を意識しているとは言い難く、特にどのような教材を使用するかについては課題が多く残されている。社会人基礎力に関する市販教材は多く見られるが、留学生や外国人を対象とした教材は少なく、一部の能力要素を育成するもの（高見 2014, 近藤他 2013, 近藤他 2018）はあるが、社会人経験がない学習者にとって教材内の場面設定を理解することは困難であると考えられる。また、経済産業省（2010）の調査からは、社会人基礎力の概念を知らないと回答した外国人留学生が約70%いることがわかっている。

上記を踏まえ、1. 社会人基礎力の全能力要素を知ること、2. 自分ごととして考えられること、を条件に作成された教材に『「下町ロケット」で学ぶ！12の社会人基礎力』（鹿目他 2023）がある。本教材の一部はタイのA大学で試用され、試用後のアンケート調査では、大学入学後の早期段階で本教材を使用することが望ましいという意見が見られたという。

しかし、タイの大学における日本語学習者のレベルは多様であり、特に近年、入学者数の減少が見られる大学を鑑みると、教材のタイ語版、もしくは新たな教材開発の必要性が示唆され、前者の場合は時間を要する現状にある。

では、どのような教材が良いだろうか。現地の日本語教師によれば、学習者が日本語を始めるきっかけの一つにポップカルチャーがあるという。国際交流基金（2020）の調査結果においても、同様にタイの日本語教育の進展の背景としてポップカルチャーを挙げている。また、国際交流基金（2020）によれば、教師によるコンピューターを使用した教材作成や視聴覚教材として絵教材や動画の使用、情報収集のツールとしてのインターネットの活用が進んでいるという。

そこで、筆者らは「ポップカルチャー」、「インターネットの活用」をキーワードにし、鹿目他（2023）の出版教材の2つの条件をもとに社会人基礎力の教材を作成するのはどうかと考えた。

本研究では、BTSのSNSのうち、BTS公式YouTubeで配信されているトーク番組「シュチタ（슈치타, 以下；シュチタ）」のメンバーの発言に焦点をあて、「シュチタ」の社会人基礎力教材への汎用の可能性を探ることを目的とする。

## 2. 先行研究

### 2.1 社会人基礎力

「社会人基礎力（経済産業省 2006）」は、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」と定義され、3つの能力（前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力）と12の能力要素（主体性・働きかけ力・実行力・課題発見力・計画力・創造力・発信力・傾聴力・柔軟性・状況把握力・規律性・ストレスコントロール力）で構成されている。各能力要素に関する発揮できた例は表1のとおりである。

表1 発揮できた例（河合塾 2010、39より抜粋）

能力要素	発揮できた例
主体性	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組むことができる</li> <li>自分の強み・弱みを把握し、困難なことでも自信を持って取り組むことができる</li> <li>自分なりに判断し、他者に流されず行動できる</li> </ul>
働きかけ力	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手を納得させるために、協力することの必然性（意義、理由、内容など）を伝えることができる</li> <li>状況に応じて効果的に巻き込むための手段を活用することができる</li> <li>周囲の人を動かして目標を達成するパワーを持って働きかけている</li> </ul>
実行力	<ul style="list-style-type: none"> <li>小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組み続けることができる</li> <li>強い意志を持ち、困難な状況から逃げずに取り組み続けることができる</li> </ul>
課題発見力	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握できる</li> <li>現状を正しく認識するための情報収集や分析ができる</li> </ul>
計画力	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てられる</li> <li>進捗状況や不足の事態に合わせて、柔軟に計画を修正できる</li> </ul>
創造力	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数のもの（もの、考え方、技術等）を組み合わせ、新しいものを作り出すことができる</li> <li>従来の常識や発想を転換し、新しいものや解決策を作り出すことができる</li> <li>成功イメージを常に意識しながら、新しいものを生み出すためのヒントを探している</li> </ul>
発信力	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例や客観的なデータ等を用いて、具体的にわかりやすく伝えることができる</li> <li>聞き手がどのような情報を求めているかを理解して伝えることができる</li> </ul>
傾聴力	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解することができる</li> <li>相手の話を素直に聞くことができる</li> </ul>
柔軟性	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見を持ちながら、他人の良い意見も共感を持って受け入れることができる</li> <li>相手がなぜそのように考えるかを、相手の気持ちになって理解することができる</li> <li>立場の異なる相手の背景や事情を理解することができる</li> </ul>
状況把握力	<ul style="list-style-type: none"> <li>周囲から期待されている自分の役割を把握して、行動することができる</li> <li>自分にできること・他人ができることを的確に判断して行動することができる</li> <li>周囲の人の状況（人間関係、忙しさ等）に配慮して、良い方向へ向かうよう行動することができる</li> </ul>
規律性	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解している</li> <li>規律や礼儀が特に求められる場面では、粗相のないように正しくふるまうことができる</li> </ul>
ストレスコントロール力	<ul style="list-style-type: none"> <li>ストレスの原因を見つけて、自力で、または他人の力を借りてでも取り除くことができる</li> <li>ストレスを感じることは一過性、または当然のことと考え、重く受け止めすぎないようにしている</li> </ul>

経済産業省（2006）が企業向けに行ったアンケート調査では、9割以上の企業が新卒採用や人材育成において「社会人基礎力」を重視しているという結果が出ている。また、鹿目・大橋（2018）の調査からも、タイの日本企業がタイ人日本語人材に日本語能力と日本語能力以外の能力を求めていることがわかっており、日本語能力以外の能力は鹿目他（2021）の分析から、「社会人基礎力」に相当することが明らかになっている。そして、企業は社会人基礎力の育成を大学に委ねており（山本他 2022）、Methapisit and Yamamoto（2017）によれば、タイのA大学の学生のための海外インターンシップの事前研修においても、社会人基礎力の育成の必要性は明らかだという。

つまり、今後、タイの大学において、社会人基礎力の育成を考慮しながら日本語教育を提供していくことが必要不可欠になることが予想される。

### 3. BTS とは

2013年6月13日にデビューした韓国のボーイズグループであり、「防弾少年団」または「Beyond The Scene (BTS)」と呼ばれる（カン他 2023）。「防弾少年団」のグループ名には「10代・20代に向けられる社会的偏見や抑圧（という名の弾丸）を防ぎ（止め）、なおかつ自分たちの音楽と価値を弾き出して守り抜く」という意味が込められており、「Beyond The Scene」には「現実に住せず、夢に向かって絶えず成長していく青春」という意味が込められているという（コネル WEB 2018）。また、彼らは「21世紀のポップアイコン」と呼ばれている（BIGHIT Music/HYBE 2023）。

### 4. シュチタ

シュチタ（슈치타）は「SUGA と酔う時間（슈가와 취하는 타임）」という意味で、BTS メンバーの SUGA がお酒と音楽を通じて様々な分野のゲストと率直な話を繰り広げるトーク番組である。BTS 公式 YouTube と Weavers で配信されている。

#### 4.1 発言の信憑性

インターネット情報を教材として活用するにあたり、情報の適切性を判断するうえで、メディアの信憑性という視点から BTS 公式 YouTube で配信されている「シュチタ」を判断する。

大田（2018）によれば、Schweiger（2000）は、メディアの信憑性に関して消費者がその情報源を信じるに値するものなのかどうかについて、6つの参照レベル（図1）から判断しているという。なお、消費者とは、消費者庁（2019）によれば、「商品を購入したりサービスを利用したりといった「消費」活動をする人のことであり、全ての人は消費者である」と定義されており、インターネットを通して「シュチタ」を視聴する人も消費者になる。

大田（2018）は、各レベルについて以下のように例を挙げて説明している。

- ① 第1レベルとして、「プレゼンター」がある。例えば、大統領による声明なのか、専門家以外の知人から聞いた話なのかどうかで判断する場合である。
- ② 第2レベルとして「情報源の元」がある。つまり、たとえ大統領が声明を出したとしても大統領自身で作文された声明なのかどうかということである。その元になっている情報源の所在によって信じられる情報源かどうかを消費者が判断することになる。
- ③ 第3レベルとして、「編集ユニット」が挙げられる。これは第2レベルと重複するところがあるが、情報源の編集者が組織的に行われているかである。
- ④ 第4レベルとして、メディアブランドが挙げられる。これは雑誌でも日経ビジネスなのか、週刊文春による情報源なのかというものである。
- ⑤ 第5レベルとして「メディアのタイプ（性質）」がある。Scabweigerによれば、メディアの中でも公的・私的によって情報の受け止め方が異なると指摘されている。
- ⑥ 第6レベルとして、「メディアのタイプ」がある。これはテレビCMや新聞、ネットといったメディア固有の特性によるものである。

(大田 2018、34-35)

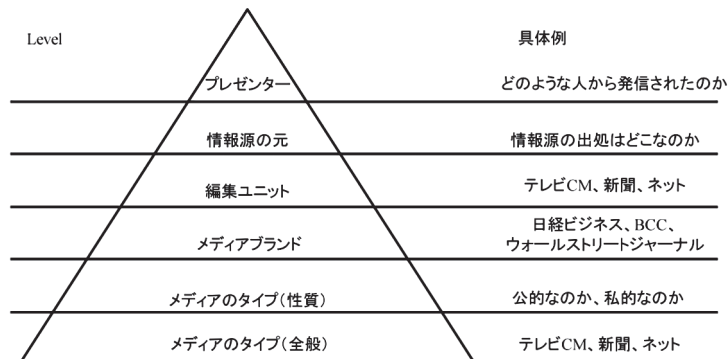


図1 「Scabweigerによる6つの参照レベル」(大田 2018、35) から抜粋)

Scabweigerによれば、消費者は基本的に第1レベルを特に重視する傾向にあるが、消費者の情報処理能力に応じて、第3レベル以降から情報の信頼性を判断する可能性があることを指摘しているという(大田 2018)。また、大田はメディアがもつ信憑性と消費者のメディア選択行動の関係について、東京都・大阪府・愛知県の主要都市在住の20～50代の360名を対象に、「公正である：fair」および「正確である：accurate」という尺度から検証し、「メディアの利用意向の高さはメディアの信憑度に関連するが、メディアの信憑度の高さは必ずしもメディアの利用意向度に結びつくとは限らないことが示された」(大田 2018、47)と述べている。

上記を踏まえ、「シュチタ」を図2のレベルに照合すると、第1レベルはBTSのメンバーであり、第2レベルはメンバー自身が発した言葉と考えられる。第3レベルはBTS公式であるが編集

者が明確に示されていないことから組織的とは断言できない。また、第4レベルは BANGTANTV という BTS 公式 YouTube であることから、第5レベルは公式であり、第6レベルは YouTube であることからインターネットである。

次に、「シュチタ」の利用意向度、すなわちアクセス数をみると、2023年10月末日時点において、BANGTANTV のチャンネル登録者数は7,670万人おり、半分以上がアクセスをしている。大田(2018)の検証結果に照合すると、メディアの利用意向の高さが高いため、信憑度が高いといえるが、メンバー個人の考えや意見を聴き、「発言」に焦点をあてた番組は「シュチタ」のみであるため、「公正である：fair」という点では疑問が残る。

しかしながら、Schweiger(2000)が消費者は基本的に第1レベルを特に重視する傾向にあると述べていることから、BTSのメンバーから発信されたことに信憑性があるかが重要になるといえる。言い換えるならば、BTS自身が信頼に値するグループであるかという点である。その点について、キム(2020)は、BTSがアメリカで関心を集めた要因として、システムと宣伝で巧みに操られるものだという既存概念をもつポピュラー音楽とは異なり、BTSのイベントや努力すべての核心にあるものは「嘘のない姿勢」だと表現している。また、キム(2020)は、BTSについて慎み深く、情熱的で、何よりも正直な姿であると形容し、BTSの音楽はプロデューサーがコントロールするのではなく、メンバーの自由なアイデアや意見が反映されているという。さらに、YouTubeのライブ配信に関して、RMは「パンPD<sup>1)</sup>に、配信でいろいろ話すかもしれないと言うと、「うん、そうしたらいいとおっしゃったんです。」(カン他2023、434)と言及している。

つまり、上述から BTS は誠実なグループであること、彼らが発信する言葉や考えも事務所からコントロールされているものではないことが示唆されるため、「シュチタ」におけるメンバーの発言は信憑性があるといえる。

## 4.2 各メンバーの発言と分析

メンバーの発言は、原文である韓国語と和訳を併記する(資料)。なお、和訳は YouTube の字幕を用いた。また、会話文にある番号は、会話分析する際に付けた便宜上の番号とする。紙面の関係上、ここでは「資質」や「能力」に関連する発言のみを取り上げた。

### 4.2.1 RM 編

リーダーの RM の発言について述べる。筆者らが取り上げた RM の発言の中で目を引くのは、「実行力」と「情況把握力」である。0158-0159 で RM は自分が苦痛を受けながらも、世間に良い影響を与えられる人を目指していると述べている。表1に照合すると、これは RM の持つ「実行力」、つまり、困難な状況から逃げずに粘り強く取り組み続ける力があるといえるだろう。

次に 0149-0150 では RM の「情況把握力」を見ることができる。「僕のために何かをしてたり」(0149)では、自分が兵役に行くことにより活動を休止する間にグループのメンバーが自分のために何かをしてくれるのを RM が理解していることを示している。さらに 0150 では自身の兵役後

も必ず RM が BTS に戻ってくると信じているファンの期待を理解し、その期待に応えようという RM の意志が感じられる。

上述は、RM が持つ「実行力」と「状況把握力」に焦点をあてているが、この2つの力以外にも 0159 は自分なりに判断し、他者に流されず行動できる（表1）という「主体性」に該当する発言とも捉えられる。また、0106 の「頭に浮かんだアイデアを写真のように残して」という発言は RM が考える良い曲を作るため、すなわち「成功イメージを常に意識しながら、新しいものを生み出すためのヒントを探している（表1）」という「創造力」に該当するといえる。さらに、0120 の「泣かれてるのを見てこの曲が少しでも慰めになるんだなということを感じました」という発言は、立場の異なる相手、すなわちファンの背景や事情を理解していると捉えられることから「柔軟性」に該当するだろう。

#### 4.2.2 JIN 編

グループの年長者である JIN の発言について述べる。短時間の番組内で多くの能力が見られた。JIN が、「シュチタ」に出演したのはメンバーから 1105-1108 の言われたことを聞いたことがきっかけである。これは、表1の「相手の話を素直に聞くことができる」という「傾聴力」に該当する。そして、メンバーの発言が 1109 の発言に繋がったことから、表1の「立場の異なる相手の背景や事情を理解することができる」という「柔軟性」に該当するといえる。また、1117 の発言も「柔軟性」と捉えられる。これは、SUGA が抱えていたストレスに対する発言であり、表1の「相手がなぜそのように考えるかを、相手の気持ちになって理解すること」ができたことを示唆している。SUGA のストレス話に対する発言は、1114、1115-1116、1124、にも見られ、それらの発言からは JIN の「発信力」と「ストレスコントロール力」が窺える。まず、1114 と 1124 は、SUGA がストレスを抱え、JIN に似たい、すなわち JIN のような性格や思考の持ち主になりたいと伝えた際の発言であり、聞き手である SUGA が「どのような情報を求めているかを理解して伝えることができる（表1）」という「発信力」に該当するだろう。次に、1115-1116 の発言は JIN のストレス対処法に関する考えと捉えられ、「ストレスを感じることは一過性、または当然のことと考え、重く受け止めすぎないようにしている（表1）」という「ストレスコントロール力」に該当する。

続いて、1127、1139-1140、1145、1179 の発言は、「状況把握力」に該当するといえる。1127 は JIN が大変な時期に SUGA から曲を作るように言われたことが発端であり、JIN の周囲にいる SUGA から「期待されている自分の役割を把握して行動すること（表1）」ができたことを表している。また、1179 は JIN が自分自身には自主性がないと卑下した後の発言であり、「引き受けたことは本当に誠実にやる」ということは、「周囲から期待されている自分の役割を把握して、行動することができる（表1）」ことといえる。さらに、1139-1140、1145 の発言からは、ファンに会うためにファンの状況に配慮し、アルゼンチンでの Coldplay の公演にゲスト出演、すなわち「自分にできることを的確に判断して行動（表1）」したことが窺える。そして、1163 は SUGA が BTS メンバーについて「自ら進んで練習する」、「その日、個人のスケジュールがあれば早く来て先に練習」

と語った言葉に対する JIN の発言である。これは、JIN が日頃から自発的に物事に取り組んでいる姿、すなわち「自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組むことができる（表1）」ことに相当すると考えられ、「主体性」があることが窺える。

#### 4.2.3 J-HOPE 編

J-HOPE の発言について述べる。J-HOPE は屈指のダンサーとして知られており、BTS のメジャーデビュー前には彼が他のメンバーに対してダンス指導を行なったことから、番組内で SUGA は J-HOPE のことを「振り付けチーム長」と称している。本項ではその J-HOPE の発言の中に見られる「主体性」、「働きかけ力」、「実行力」、「課題発見力」、「状況把握力」を取り上げたい。

2124-2130 で J-HOPE が繰り返し言及しているのは、自分の強み、つまり得意なダンスを活かすというメンバー内での役割と、その自分を他のメンバーが受け入れ、ダンスの練習を諦めずについてきてくれたことへの感謝である。この J-HOPE の一連の発言には、ダンスという自分の強みを把握し、グループの成長のためにメンバーのダンス指導に自信を持って取り組んできたこと、すなわち表1の「自分の強み・弱みを把握し、困難なことでも自信を持って取り組むことができる」こと、「周囲から期待されている自分の役割を把握して、行動することができる」ことに該当する。つまり、J-HOPE の「主体性」と「状況把握力」が表現されているといえる。また、メンバーが J-HOPE の指導についてきたということは、ステージで素晴らしいパフォーマンスを見せるために、「周囲の人を動かして目標を達成するパワーを持って働きかけている（表1）」ことの表れであり、J-HOPE には「働きかけ力」があるといえる。

さらに、2125-2127 からは、J-HOPE を始めとするメンバーがステージでの「成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握（表1）」できている、すなわちダンスへの努力を続けたことは、「課題発見力」があることを意味しているといえる。

そして、2128-2130 の発言からは、「強い意志を持ち、困難な状況から逃げずに取り組み続けること（表1）」ができた結果と捉えられ、これは「実行力」に該当する。

#### 4.2.4 JIMIN 編

BTS のメンバーとして最後に加入した JIMIN の発言について述べる。まず、JIMIN は 3105、3107-3108 で、グループの成長にはメンバー各自が主体性を持つことが必要であり、自分が積極的に発信し主体的にグループに参加することがグループの成長にも繋がると発言している。これはそれぞれ「自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組むことができる（表1）」という「主体性」、「周囲から期待されている自分の役割を把握して、行動することができる（表1）」という「状況把握力」に該当する。さらに、「みんな一緒に集まってる時こそ意味がある」（3135）、「それ（グループ）をやるために今これ（個人活動）をやってる」（3137）とグループと個人活動の関係について言及している。この発言からは JIMIN がグループを踏み台にして個人活動を行っているのではなく、個人活動の成果をグループに持ち帰ることに意味があると考えていることが



窺える。つまり、これらの発言は表1の「周囲の人の状況に配慮して、良い方向へ向かうよう行動する」という「状況把握力」を示しているといえる。

次に、3146-3153でJIMINは10年間の活動における努力について言及している。3149-3150の「(自分自身の) 足りないと感じた部分のはっきりと目に見えた」「また(努力の) 密度を高めている」という発言からは、自分を客観的に眺め、不足している点を認識し、それを補うために努力する姿勢が窺える。これは表1の「自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組むことができる」という「主体性」に該当する。JIMINは続けて「影響を与えられる人だと言われるくらい成長したい」(3152、3153)とも述べている。これは努力の成果をイメージし、そのイメージに自分が近づくために努力し続けるJIMINの姿勢を表しており、これらの発言には「成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握できる(表1)」という「課題発見力」、「小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組み続けることができる(表1)」という「実行力」が表されているといえる。

#### 4.2.5 JUNG KOOK 編

JUNG KOOK(以下JK)の発言について述べる。JKの発言からは多くの能力要素が窺える。まず、4104では、「影響を受けた」とあり、これは相手を理解するために聴くという行為の結果であることから、「相手の話を素直に聞くことができる(表1)」という「傾聴力」に該当する。そして、4125もSUGAの話に対する発言であることから、「傾聴力」といえる。

次に、4111と4112は「FIFAワールドカップ2022」のステージの際の発言である。JKが、さらに魅力のあるステージを見せるために予定されていたパフォーマンスを変更させたということから、「周囲の人を動かして目標を達成するパワーを持って働きかけている(表1)」という「働きかけ力」に該当する。また、これは「進捗状況や不足の事態に合わせて、柔軟に計画を修正できる」という「計画力」にも該当するといえる。さらに、4126-4130の発言からは、客観視することを通して、努力すべき点を認識していることが窺える。すなわち、表1の「現状を正しく認識するための情報収集や分析ができる」という「課題発見力」に該当するといえる。

そして、4181であるが、物事に率先して取り組むメンバーの姿に関するSUGAの発言に対して、JKが発した言葉である。「7人全員がそうじゃないですか」という言葉は、JKを含めた各メンバーが「自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組むことができる(表1)」ことを意味しており、「主体性」に該当する。また、4199は、メンバーについて「発展できる方向へ良い刺激をくれたメンバー」、「互いに影響をたくさん受け合った」、「良い子」と表現したSUGAの発言に対するJKの発言である。SUGAは、JKを含めた各メンバーが、互いに刺激し合いながら、発展し続ける人達であると評価している。

つまり、JKを含めた各メンバーが「自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組むことができる(表1)」という「主体性」と、「目標に向かって粘り強く取り組み続けることができる(表1)」という「実行力」を併せもっているといえる。

#### 4.2.6 SUGA 編

SUGA の発言について述べる。SUGA の発言で、特筆すべきは「状況把握力」の多さである。5112-5113 の発言は、ファンが BTS の音楽を通して生き、今後も生きていくことを SUGA が理解しており、5115、5117-5118 の発言はファンに対する BTS の役割、すなわち曲を作っていくことを表しているといえる。これは、表 1 の「周囲から期待されている自分の役割を把握して、行動することができる」に該当する。また、5101 の「僕だけでも 1 人で走ってみよう [メンバーと共に過ごす日々のためにステージを守りたかっただけ]」という発言は、表 1 の「自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組むことができる」という「主体性」と「周囲の人の状況（人間関係、忙しさ等）に配慮して、良い方向へ向かうよう行動することができる」という「状況把握力」に該当する。

さらに、5102-5104 の発言からはファンの話に耳を傾けていることがわかり、「相手の話を素直に聞くことができる（表 1）」という「傾聴力」に該当するだろう。

#### 4.2.7 V 編

V の発言について述べる。まず、6105 の発言であるが、「シュチタ」という番組とプライベートでの会話内容を区別しようとする V の心構えが窺える。これは、SUGA や番組関係者である「相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解していること（表 1）」を指すと考えられ、「規律性」に該当するといえる。

次に、6107 であるが、今回 V がリリースしたソロアルバムの話における発言である。「気に入らなかったら出さなかった」という文言は、V がより質の高いソロアルバムを作るために、「強い意志を持ち、困難な状況から逃げずに取り組み続けることができる（表 1）」人であり、「実行力」の持ち主であることがわかる。また、6116-6117 と 6121-6122 の発言は、ソロアルバム内の曲のミュージックビデオ制作に対して、V 自身が「自分なりに判断し、他者に流されず行動（表 1）」したことを表しており、「主体性」に該当する。

さらに、6123-6124 は SUGA が V の好む音楽と BTS の音楽との違いによる衝突に言及した際の V の発言である。「グループでお見せすればいい」、「7 人で見せる時」という文言から、V がグループ、すなわち「周囲から期待されている自分の役割を把握して、行動すること（表 1）」ができることを示しており、「状況把握力」があるといえる。

続いて、6129-6131 であるが、V が SUGA に以前、聞かせていた自身の曲から新しい雰囲気を持つ曲を作り出したこと、すなわち「従来の常識や発想を転換し、新しいものや解決策（表 1）」を作り出したと捉えられ、「創造力」に該当するといえる。また、6157-6158 の発言は、SUGA によるグループ活動再開に関する質問の返答である。V は 6157 の前に J-HOPE の発言を引用しており、それを踏まえての発言であることから、表 1 の「事例や客観的なデータ等を用いて、具体的にわかりやすく伝えることができる」という「発信力」に該当する。

そして、6176 の発言は SUGA の発言に対しての確認であり、「内容の確認や質問等を行いな

ら、相手の意見を正確に理解することができる（表1）」という「傾聴力」に該当する。また、Vは「シュチタ」の中でSUGAの発言に対する相づちが数多く見られ、この姿勢も「相手の話を素直に聞くことができる（表1）」という「傾聴力」に該当する。

## 5. 教材に向けた考察

4.2.1から4.2.7の分析結果を社会人基礎力の発揮できた例（表1）に照合した結果、表2のとおりになる。

表2 メンバーの発言と社会人基礎力の照合表

能力要素 \ メンバー	RM	JIN	J-HOPE	JIMIN	JUNG KOOK	SUGA	V
主体性	★	★	★	★	★	★	★
働きかけ力	☆		☆☆	☆	☆☆		☆
実行力	★		★	★	★		★
課題発見力	☆	☆	★	☆☆	☆☆	☆	☆
計画力					★		
創造力	★						★
発信力		★					★
傾聴力		★			★	★	★
柔軟性	★	★					
状況把握力	★	★	★	★		★	★
規律性							★
ストレスコントロール力		★					

表内の★はメンバーが対談中に発言した回答に見られる能力要素を表し、☆は対談中に言及された過去の発言に見られる能力要素を表す。

表2をみると、約40分のトーク番組である「シュチタ」には、社会人基礎力の12の能力要素が見られることがわかる。12能力要素のうち、メンバー全員には「主体性」、「課題発見力」がみられ、「規律性」と「ストレスコントロール力」はメンバー1名ずつのみであった。「シュチタ」におけるメンバーの発言は韓国語であるものの、本番組はスペイン語、英語、日本語、中国語の字幕設定があり、日本語の授業での利用は可能といえる。また、本研究は言語の習得ではなく「社会人基礎力」の育成に焦点をあてていることから、「シュチタ」は社会人基礎力の育成に向けたデジタル教材として利用することが可能だと考えられる。

## 6. まとめと課題

筆者らはタイの少子高齢化に伴い、現地の日本語専攻の大学が直面している現状を解決するため、「社会人基礎力」の育成を見据えた教材開発を目指して本研究を始めた。

タイでは、日本語学習のきっかけの一つにポップカルチャーがあり、昨今、K-POP への関心が高く、日本語の授業においてはインターネットを活用している。このことから、多種多様な SNS を活用して情報発信を行っている BTS に着目し、彼らのトーク番組である「シュチタ」におけるメンバーの発言を「社会人基礎力」の観点から分析した。その結果、「社会人基礎力」育成に向けた教材開発への可能性があることがわかった。現時点では、鹿目他（2023）による『「下町ロケット」で学ぶ！ 12 の社会人基礎力』を参考に、1. 社会人基礎力の全能力要素を知ること、2. 自分ごととして考えられること、また、3. e-learning システムと教室活動を連動したコンテンツとすること、の3点を条件とした教材を考案している。教材案は以下のとおりである。

まず、e-learning のコンテンツとして「全能力要素を知る」ために各能力要素の定義と事例を挙げる。次に、「シュチタ」内のメンバーの発言から各能力要素に該当するかを確認する。その後、教室活動として「自分ごととして考えられるようになる」ために、日常・大学生活における自分の経験や行動を振り返る。そして、自分に足りない能力が求められるケースを具体的に書き出し、ケーススタディのケース教材として活用する。

今後は、e-learning システムの選択と「シュチタ」の効果的な利用法を課題として、取り組んでいく所存である。

### 注

- 1) 韓国の音楽プロデューサー、作曲家、作詞家。HYBE（旧 Big Hit Entertainment）の創業者で元最高経営責任者である。2021年に取締役会長に就任した。

### 参考文献

- 大田謙一郎（2018）「メディアの信憑性とその利用意向——食品リスクの購買行動を前提として——」『長崎県立大学論集（経営学部・地域創造学部）』第52巻、第1号、33-49.
- 熊谷章太郎（2019）「急速な高齢化への対応を進めるタイ——中所得国型高齢化対応の成功事例とされるか——」『環太平洋ビジネス情報』第72号、54-82.
- 鹿目葉子・大橋真由美（2018）「タイの日本企業が求める日本語人材育成に向けた日本語授業の提案——タイの日本企業への日本語ニーズ調査から——」『桜美林大学言語教育研究』第8号、25-34.
- 鹿目葉子・榎原実香・大橋真由美（2021）「新時代に向けたビジネス日本語教科書の提案——大学における社会人基礎力の育成を目指して——」『BJジャーナル』第4号、2-15.
- 鹿目葉子・大橋真由美・榎原実香（2023）『「下町ロケット」で学ぶ！ 12 の社会人基礎力』くろしお

出版.

- 河合塾 (2010) 『社会人基礎力育成の手引き — 日本の将来を託す若者を育てるために 教育の実践現場から』 web 版. <https://www.wakuwaku-catch.com/> 社会人基礎力 / 社会人基礎力育成の手引き / (2023 年 7 月 7 日アクセス)
- カン・ミョンソク・BTS (2023) 『BEYOND THE STORY ビヨンド・ザ・ストーリー — 10-YEAR RECORD OF BTS —』 株式会社新潮社.
- キム・ヨンデ (2020) 「BTS を読む — なぜ世界を夢中にさせるのか」 柏書房.
- 熊谷章太郎 (2019) 「急速な高齢化への対応を進めるタイ — 中所得国型高齢化対応の成功事例とされるか —」 『環太平洋ビジネス情報』 第 72 号、54-82.
- 経済産業省 (2006) 「社会人基礎力に関する研究会 — 『中間取りまとめ』 —」 [https://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/sansei/jinzairyoku/jinzaizou\\_wg/pdf/001\\_s01\\_00.pdf](https://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/sansei/jinzairyoku/jinzaizou_wg/pdf/001_s01_00.pdf) (2023 年 8 月 13 日アクセス)
- 経済産業省 (2010) 「大学生の「社会人観」の把握と「社会人基礎力」の認知度向上実証に関する調査 (平成 21 年度就職支援体制調査事業)」 <https://selectra.jp/sites/selectra.jp/files/pdf/201006daigakuseinosyakajinkannohaakutonintido.pdf> (2023 年 8 月 13 日アクセス)
- 国際交流基金 (2020) 「日本語教育・地域別情報 タイ (2020 年度)」 <https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/survey/area/country/2020/thailand.html> (2023 年 8 月 20 日アクセス)
- コネル WEB (2018) 「バンタンとは? BTS(ビーティーエス)の意味と略語を解説」 <https://coneru-web.com/bangtan-bts/> (2023 年 8 月 23 日アクセス)
- 近藤彩・金孝卿・ムグダ ヤルディー・福永由佳・池田玲子 (2013) 『ビジネスコミュニケーションのためのケース学習 職場のダイバーシティで学び合う【教材編】』 ココ出版.
- 近藤彩・品田潤子・金孝卿・内海美也子 (2018) 『課題達成のプロセスで学ぶビジネスコミュニケーション<改訂新版>』 ココ出版.
- 識学総研 (2022) 「BTS のマーケティングとは? 企業が見習うべきブランディング戦略」 <https://souken.shikigaku.jp/21983/> (2023 年 8 月 2 日アクセス)
- 消費者庁 (2019) 「令和元年版消費者白書 — 第 1 部 第 2 章 第 1 節(1) 消費者政策の意義 (消費者と消費者問題)」 [https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_research/white\\_paper/2019/white\\_paper\\_107.html](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_research/white_paper/2019/white_paper_107.html) (2023 年 8 月 25 日アクセス)
- 高見智子 (2014) 『中級から伸ばす ビジネスケースで学ぶ日本語』 ジャパンタイムズ.
- 山本由美子・鹿目葉子・大橋真由美・榎原実香・ムニंतरラウォン・シリワン (2022) 「ビジネス日本語授業における SECI モデルの実践報告 — タイ人学生の協働による学びから —」 『Thailand 研究論集 2022』、タイ日研究ネットワーク . (2023 年 9 月 15 日アクセス)
- Methapisit, T. and Y. Yamamoto (2017) Preparation for Internships Abroad. *jsn Journal*, Vol.7 no.2, 83-100. (タイ語) <https://so04.tci-thaijo.org/index.php/jsn/article/view/107836>
- Scbweiger, W. (2000) "Media Credibility - Experience or Image?: A Survey on the Credibility of the World Wide Web in Germany in Comparison to Other Media" *European Journal of Communication*, Vol.15(1), 37-59.
- BIGHIT Music/HYBE (2023) 「JAPAN OFFICIAL FANCLUB」 <https://bts-official.jp/> (2023 年 9 月 15 日アクセス)
- KAMO CONSULTANCY (2023) 「【タイ】少子化による学生数減少で大学の経営難が深刻化」 <https://kamobs.com/south-east-news/thailand/thai-universities.html/2023/06/26/> (2023 年 9 月 15 日ア

クセス)

## 参考 URL

- シュチタ・RM 編 <https://www.youtube.com/watch?v=KN9gQBb4up0>
- ・JIN 編 <https://www.youtube.com/watch?v=tZscK8j5a5w>
  - ・J-HOPE 編 <https://www.youtube.com/watch?v=5xfosKUglZw>
  - ・JIMIN 編 <https://www.youtube.com/watch?v=X6Svs7gYs1U>
  - ・JUNK KOOK 編 <https://www.youtube.com/watch?v=ocDDLPLKe70&t=2s>
  - ・SUGA 編 <https://www.youtube.com/watch?v=YXr6-vXzSrl>
  - ・V 編 <https://www.youtube.com/watch?v=M6wpkLCiHol>
- BANGTANGTV <https://www.youtube.com/channel/UCLkAepWjdylmXSltofVsYQ>

## 資料

RM の発言		
0106	ハマるものがあればその時残しておいて [BTS の活動中 頭に浮かんだアイデアを写真のように残して]	그때그때 꽃힌 것과 그 때가 있으면 그때 남겨놔다가 [BTS 활동중 떠오른 단상을 사진처럼 남겨서]
0120	泣かれてるのを見てこの曲が少しでも慰めになるんだなということを感じました	우시는 걸 보고 이 곡이 조금 위로가 되는구나 라고 느꼈어요
0149	準備をしておいたり、あるいは僕のために何かをしてたり [再び走り出す BTS のための準備]	준비를 해놓은 다든지 혹은 저를 위해서 뭘 한 다든지 [다시 달릴 BTS 를 위한 준비]
0150	それらをしっかりと守ろうと努力するんじゃないかな	그래서 그것들을 좀 잘 지키려고 노력하지 않을까
0158	苦痛も受けながらそういうことを [大人とは何だろうか? 悩み苦痛を受けながら良い影響を与えられる人]	고통도 받고 하면서 좀 그런 것들을 [어른은 뭘까? 고민하고 고통받으며 선한 영향을 주는 사람]
0159	世間にもっと良い方法で施すことができる [大人とは何だろうか? 悩み苦痛を受けながら良い影響を与えられる人]	세상에 더 좋은 방식으로 베풀 수 있는 [어른은 뭘까? 고민하고 고통받으며 선한 영향을 주는 사람]
JIN の発言		
1105	それでも JIN さんが軍隊に行っている間に	그래도 형 군대 가있는 동안
1106	SUGA さんと JIN さんが一緒に出演しているコンテンツを [JIN さんが SUGA さんと]	슈가 형이랑 진형이랑 같이 나가 있는 콘텐츠를 [슈가 형과 함께 있는]
1107	ARMY の皆さんが見たら [一緒にいる姿を見たら]	팬들이 보게 된다면 [슈가 형과 함께 있는 모습을 본다면]
1108	「ARMY の皆さんもきっと喜ぶはずですよ」と言われ	「팬분들이 되게 좋아하지 않으실까요?」 라는 얘기를 듣고
1109	それを聞いて受けたんです [JIN の心を動かした ARMY]	그걸 듣고 오겠어요 [진의 마음을 움직인 ARMY]
1114	なぜなら僕の言ったとおり今やってるよ!	왜냐면 내가 하라는 대로 지금 하고 있어
1115	だから自分の言ったことは全部忘れてって言ったでしょ	그러니까 내가 한 말은 다 잊으라고 했잖아
1116	過ぎたことは過ぎたことだと	지나간 일은 지나간 일이라고

1117	SUGAさんは昔そのことでストレスを感じてたんだから覚えているよ	너가 옛날에 그것 때문에 스트레스를 받았거든요
1123	良いこと悪いこと…覚えておきたいことは覚えておいてもいいけど	좋은 일, 나쁜 일 기억하고 싶은 걸 기억해도 좋지만
1124	僕が言ったとおりに実行しているんだよ!	넌 지금 내가 얘기했던 그대로 지금 실행을 하고 있는 거야
1127	あの時 SUGAさんに曲を作ってと言われて「Abyss」をリリースしたんだよ	그때 네가 곡 만들라고 해서 < Abyss > 나왔던 거 아냐
1139	1曲で公演をやるには	한 곡으로 공연을 하기에는
1140	会場まで来てくださる ARMYの皆さんに申し訳ない	여기까지 올 아이들에게 미안해서
1145	ゲストとしてステージを〔ツアー公演中にサプライズゲストとして登場〕	게스트로서 무대를 [투어 공연중 깜짝 게스트로 등장]
1163	当然のことじゃない?	당연한 것 아니야?
1179	頼まれたことは一生懸命やるんだ引き受けたことは本当に誠実にやるけど	시키는 건 굉장히 열심히 해 맡은 것은 굉장히 성실하게 하는데
J-HOPEの発言		
2124	でもまあ僕が上手くやるからといってできるものでもないし	근데 뭐 사실 저 제가 잘한다고 되는 것도 아니고
2125	受け入れてくれるメンバーが	그냥 받아들이는 분들이
2126	一緒に応えてくれて	사실 같이 뭔가 호응해 주고
2127	一緒にやってくれることでその相乗効果が現れるわけで	같이 함께 해 줘야지 그 시너지가 있는 건데
2128	メンバーみんながよくついてきてくれて [7人で一緒に成し遂げた成果]	멤버들이 다들 잘 따라와 주시고 [7 명이 함께 이룬 성과]
2129	僕はすごく理解できるんです	저는 근데 그게 너무 이해가 되는 거 같애
2130	努力してくれて一緒にやるだけでもありがたいことです	노력을 해 주고 같이 하는 것만으로도 고마운 거죠
JIMINの発言		
3105	グループがさらに成長するにはそれぞれが主体性を持つことが必要だし	팀이 성장하려면 각자 다 주체가 있어야 하고
3107	自分の言いたいことをきちんと説明できてこそ	자기 얘기를 더 정연하게 설명할 수 있어야지
3108	グループが成長できているんだなと感じました	팀이 성장할 수 있다고 느껴요
3135	みんな一緒に集まってる時こそ意味があるんだよね	다 같이 모였을 때가 의미가 있네
3137	それをやるために今これをやってるんだよ [グループのためのソロ]	그거 하려고 지금 이거 하고 있는 거죠 [팀을 위한 솔로]
3146	僕も努力をしているとはいっても	저도 사람이 어떻게 노력한다고 한들
3147	10年間まったく同じように努力するのは難しいですよね これまで	10 년동안 어떻게 한결같이 노력하겠어요 . 그동안
3148	密度が高い瞬間もあれば低い瞬間もあったと思います [同じではなかった努力の密度]	밀도가 높은 순간이 있고 낮은 순간이 있었던 것 같아요 [똑같은 않았던 노력의 밀도]
3149	足りないと感じた部分がはっきりと目に見えたので	부족하다고 느꼈던 부분이 분명하게 눈에 보였고
3150	また密度を高めているところで [再び努力の密度を高めているところ]	다시 밀도를 높이고 있는 중이라 [다시 노력의 밀도를 높여 가고 있는 중]
3152	ある程度影響を与えられる人だと [影響を与えられる歌手に成長したい]	애가 어느 정도의 영향을 줄 수 있는 사람이라고 [영향을 줄 수 있는 가수로 성장했으면]

3153	言われるくらい成長したいと思っています	얘기 들을 수 있을 정도로 성장을 하고 싶다는 생각은 데
JUNG KOOK の発言		
4104	でも本当にラップ組のメンバーからすごくたくさん の影響を受けました	근데 랩라인 형님들이 참 많은 영향을 줬죠
4111	いざやったら手直しする部分があったんです [いざ やってみたらもっとうまくやりたい気持ちが…!]	막상 또 고칠 부분이 좀 있는 거예요 [막상 보니 더 잘하고 싶은 마음이]
4112	それも僕が変えてほしいと言って変わったんです [JUNGKOOK の積極的な意見によって]	그것도 그냥 제가 수정해달라고 해서 바뀐 거고 [정국 의 적극적인 의견으로]
4125	最近そうしようとしています!	요즘 그러려고 해요
4126	そうやって考えればこそ努力すべきところが見える んです	그렇게 생각을 해야 또 노력해야 하는 부분이 보이더 라고요
4127	また別に	따로
4128	僕が客観的な目でそういうものを見ることができた ときに [自ら客観的であるときに]	내가 객관적으로 그런 걸 볼 수 있을 때 [스스로 객관적인 때]
4129	僕の足りない部分が見えてくるので [訪れる発展と ポジティブさ]	내가 또 부족한 부분이 보이니까 [찾아오는 발전과 긍정]
4130	それを補って	그걸 보완하고
4181	7人が全員そうじゃないですか	7명이 다 그러잖아요
4199	みんな思慮深いですね	다 깨어있는 거 같아요
SUGA の発言		
5101	僕だけでも1人で走ってみよう [メンバーと共に過ごす日々のためにステージを守り たかっただけ]	나만도 혼자 뛰어보겠다 [멤버들과 함께 할 날을 위해 무대를 지키고 싶었을 뿐]
5102	僕たちの音楽を聴いて今も元気をもらったり	우리 음악을 듣고 아직도 힘을 내고
5103	自分の人生を	본인의 삶을
5104	変えていっている人たちがすごく多いんです	변화 시켜 나가는 사람들이 많아요
5112	僕たちの音楽を愛してくれる人が [ARMY の皆さん が僕たちを]	우리 음악을 좋아하는 사람이 [아미 분들이 우리를]
5113	僕たちを通して生きていくのだとすれば	우리 통해서 살아간다면
5115	ARMYを通して生きていく	아미분들을 보면서 살아가는 거니까
5117	この相互関係が本当に	이 상호관계가 정말
5118	恵まれているなと思います [僕たちは恵まれています]	축복받은 거라 생각해요 [우린 축복받은 거예요]
V の発言		
6105	番組かどうかによって違うじゃないですか [プライ ベートではないため感じるプレッシャー]	방송이냐 아니냐에 따라서 또 다르잖아요 [사석이 아니니까느껴지는 부담]
6107	でも僕も気に入らなかつたら出さなかつたはず です	근데 저도 마음에 안 들었다면 안 나왔을 거예요
6116	ソロ活動では絶対に	저는 솔로할 때 무조건
6117	MVを全部撮影しようと考えていたんです	뮤비 다 찍어야겠다는 생각 되게 많이 했어요
6121	MVを8つ撮らなといけません	저 뮤직비디오를 8개 찍어야 되더라고요
6122	曲ごとに自分が考えるイメージがあるじゃない ですか	그 한 곡 한 곡마다 자기가 생각하는 그 이미지란 게 있잖아요
6123	その華やかな姿はグループでお見せすればいいと思 っています	저는 그거는 단체에서 보여주면 된다고 생각해요



6124	7人で見せる時が僕が見せる姿の中で一番最高だと思っているので	그거는 7 명에서 할 때가 제가 가장 보여주는 모습 중에 최고라고 생각하기 때문에
6129	今まで SUGA さんに聴かせた音楽とは	제가 이때까지 형한테 들려준 음악들을
6130	はい、少し違うかもしれません	네, 조금 결이 다를 수 있지만
6131	時間が経つにつれて見つけた色だったんです	제가 계속 시간이 지났다 보니까 찾아가는 색깔이더라고요 .
6157	僕が最後にアルバムを出して見て感じたことですが	제가 마지막으로 앨범을 내보고 나서 느낀 거지만
6158	BTS という色がもっと明確になると思います	더 뚜렷해질 것 같아요 방단소년단이란 색이
6176	「僕たち 7 人ならそれでいい」という…	우리 7 명이면 돼 라는가

なお、日本語の発言は、「シュチタ」内での日本語訳のママである。

